

令和5年度 事業所向け放課後等デイサービス評価表

ハッピーテラス中野

集計日：令和5年12月25日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		指定基準に沿ったスペースを確保しています。また、余暇時間中にお子さまが集中して自習に取り組むことができるよう、パーティションを使って自習スペースを確保しています。	その日のプログラムに必要なない物でスペースが狭くならないよう整理整頓に努めています。
②職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		利用予定人数に合わせた職員シフトを作成しています。保育士や公認心理師のシフトも固定休にせず、どの曜日の利用者様も専門的な支援が受けられるようにシフトを組んでいます。	人数対比はもちろん、障害特性を加味した職員配置をして安全で安心な職員配置に努めています。
③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		教室内には段差がないよう、スムーズに通れるような環境にしています。	肢体不自由の利用者様等が安心して歩行ができるように、保護者の方からの要望があった際には職員がサポートしていきます。
④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		毎日の朝礼にて、児童の共有だけではなく、業務について話をする時間を設けています。	月に1度は定例での会議を開催できるようにしています。
⑤保護者等向け評価表等を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		年2回のアンケートを実施して、保護者様やお子様のご意見やご要望をもとに業務や環境の見直しをしています。	アンケート結果はご回答いただいた皆様をご覧になれるよう掲示をしています。教室に来所されない保護者様にも確認してもらえるようデータでの引き渡しができるようにしていきます。
⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		HP上で公開しています。	引き続き、HPでの掲載をおこなっていきます。
⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		本年度、受審しています。事業所内アンケートでは聞くことができなかつたご利用者様のご意見を反映していくように努めます。	3年に一度の受審をしています。今後も、定期的な受審をおこなっていきます。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		社内の指導員で共通言語を使用して支援ができるよう、会社指定の資格取得に取り組んでいます。また、社内研修の他に外部から講師をお招きしてインプットする機会をも受けています。	社外の研修にも積極的に参加していきます。
⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		社内で開発したアセスメントツールを活用し、個別支援計画の更新時にアセスメントと個別支援計画会議、モニタリングを元に新たな個別支援計画を作成しています。	複数名の職員の意見を集約し、多角的多面的な分析に努めていきます。
⑩子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		社会適応行動に関する、56問の質問に回答いただくアセスメントツールを使用しています。質問は、言語、生活、社交性、行動問題の4つの領域で行っています。	職員によるアセスメントだけでなく、必要に応じて半構造化面談を行い、保護者からのアセスメントもできるようにしていきます。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当者が活動プログラムの作成をし、プログラム内容共有時によりよくできることや、改善点などの意見を交換し、トレーニングに反映しています。	同法人内の事業所で作成されたプログラムを元に、自事業所の利用者様向けにアレンジをして実施するなど、よいプログラムを積極的に導入し、PDCAサイクルを回し、より良いプログラムの提供ができるように努めます。
⑫活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○		毎日の利用予定者とテーマに沿ったプログラム内容を考案しているため固定化されないようにしています。	同じプログラムを実施する際には子供によって必要な支援を変更するよう努めています。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日、休日、長期休暇に加えて季節行事や利用者様によって課題を設定し、プログラムの考案・実施をしています。	自事業所の職員だけでなく、同法人内の他事業所の意見も参考に課題設定していきます。
⑭子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		集団活動を基本としていますが、子どもの実態に応じて個別活動にも切り替えることができるように計画しています。	集団活動が苦手な子どもが集団活動に入れるような個別活動を考案していきます。
⑮支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝の朝礼とトレーニング共有時に確認をしています。共有時により良いプログラムになるよう意見交換をしています。	トレーニング中においても変更が必要だと感じられたときには、状況に合わせた臨機応変に対応するよう努めています。
⑯支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		上記の通り、終礼時と翌日の朝礼にて共有をしています。	翌日の申し送り事項に共有漏れがないように項目を固定し記録を残していきます。
⑰日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用者一人一人の支援記録を残し、短期目標に沿った評価をしています。短期目標の内容以外のその日の様子についても記録しています。	朝終礼では、支援記録の内容を確認しながら支援の検証や改善に努めています。
⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者だけでなく高学年のお子さまには、子ども面談を実施しています。	高学年だけでなく、子どもの状況に応じて低学年のお子さまにも、子ども面談を取り入れていきます。
⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		複数の組み合わせに加え療育的観点も持って支援をおこなっています。	ガイドラインの総則の理解を深めて支援に反映できるよう努めています。
⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者と必要に応じて心理士や保育士などの資格を有した者が参画しています。	担当者会議に参加するものと児童発達支援管理責任者だけでなく、担当者会議の前には事業所の職員で子どもの状況を整理し、事業所としての見解もまとめておくように努めています。
㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者への同意の上、学校での様子をお聞きしたり、自事業所での様子や効果的な支援等を共有しています。	必要に応じて子どもや保護者様を含めた面談を実施できるように努めています。
㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	○	現在は医療的ケアが必要な児童は在籍しておりませんが、契約となった際には連絡体制を整えられるよう準備しています。	現時点では、医療的ケアを要する利用様の在籍がないため、今後ご利用となった際には主治医との連絡体制の整備や初期対応の確認をおこなっていきます。
㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか	○		必要に応じて関係機関との情報共有を行い、成育歴を含めた支援や目標設定をしています。	環境に変化があっても、継続できる支援の把握に努めています。
㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要に応じて関係機関との情報共有を行い、配慮事項の引継ぎ等を行っています。	上記同様、継続できる支援の共有に努めています。

②⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>	○	専門機関主催の研修に積極的な参加をしています。また、研修に出席した職員が、事業所内勉強会を開催し知識の共有をしています。	専門機関と自事業所の連携だけでなく、必要に応じて保護者様を繋げられるように努めていきます。
②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>	○	公共の施設を利用する機会はあるものの、一緒に活動するなど交流の機会は設けていません。	現状ではできておりませんが、既存契約者様のご意向を確認の上検討していきます。
②⑦ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>	○	参加する機会を設け、スタッフ全員が参加できるようにシフトを調整し協議会に参加しています。	引き続き、協議会等への参加をしています。
②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>	○	保護者面談だけでなく、お迎え時やお電話などで日頃から共通理解をおこなっています。	保護者様に合わせた連絡手段で、連絡や共有をするように努めていきます。
②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	<input type="radio"/>	○	ペアレントトレーニングではなく、勉強会や保護者会の開催等を実施しています。	外部研修等に積極的に参加し、その情報を保護者へ共有できるよう努めていきます。
③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>	○	契約時に保護者様に説明しています。利用負担について変更がある際には、適宜書面でも説明をおこなっています。	管理者だけでなくすべての職員が説明できるように努めていきます。
③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>	○	定期的な保護者面談やお迎え時等に助言や支援をおこなっています。	自事業所で応じることができない内容については、他事業所と連携して支援を行えるように努めていきます。
③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>	○	お子様の年齢が近い保護者様にお集まりいただき、保護者会の開催をしています。	より多くの保護者様に参加していただけるよう、有益なお時間になるように企画していきます。
③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>	○	自事業所内だけでなく、法人内のコンプライアンスチームや各自治体窓口と共有し、迅速な対応をしています。	苦情の分析を行い、事業所が改善すべき点を整理して対応するよう努めていきます。
③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>	○	定期的にハッピーテラス通信を作成し、情報共有や活動報告をしています。	定期的な発信だけでなく、必要に応じて情報共有をしています。引き続き適宜発信をしていきます。
③⑮ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>	○	対象となる書類等は鍵付きの書庫で管理しています。	郵送物やメールでの誤送がないよう、複数名での確認に努めていきます。
③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>	○	場面緘黙の利用者様とは、筆談をするなど、特性や配慮事項に合わせた意思疎通をしています。	ICT機器の活用や非言語での意思疎通方法を増やせるよう努めていきます。
③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>	○	各種感染症の拡大を懸念し、実施することができていません。	招待という形ではなくとも、地域で開催されているイベント等に参加できるよう努めていきます。
③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	<input type="radio"/>	○	社内研修にて職員への周知をおこなっています。	保護者の方への周知方法を検討し、実施できるよう努めます。
③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>	○	年2回の避難訓練を実施して、その都度、備蓄や避難経路の確認をしています。	隣接する同法人の事業所とも合同で避難訓練を実施していきます。
④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>	○	入社後に社内研修を実施しており、既存職員にも定期的に社内研修をしています。事案発生時には、迅速に関係機関との連携をしています。	社内に設置されている委員会との連携も迅速におこなえるよう努めます。
④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>	○	身体拘束が必要となるケースがあった際に備えて社内勉強会を実施しています。	同法人内のケースを元にシミュレーションをおこないます。

④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に保護者様に確認しています。また調理イベントを開催する際にも都度確認をしています。	医師の指示も含め、アレルギーについての危険性の理解を深める勉強会を事業所内で実施していきます。
④ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		朝礼で前日のヒヤリハット・アクシデントの確認と共有し、事例集の作成も行っています。	他事業所が作成した報告書を元に、再発防止や予想される事故の未然防止に向けた議論やシミュレーションをおこない、迅速な対応ができるよう努めます。